

[表①] 参考

『丹波史年表』にみえる江戸時代の水害

年代	西暦	備考
寛永12年8月	1635	万年芝の開拓田流蕩
慶安3年8月22日	1651	福知山大洪水
慶安4年	1651	
寛文2年8月	1662	
寛文5年7月	1665	北島村が流失
元禄15年8月29日	1702	遠阪村徳畑で一問あまりのミミズが、今で村から太さ2尺周囲の大蛇が出現
享保8年8月15日	1723	大洪水
享保20年6月21日	1735	福知山大洪水、死者多数
享保20年7月	1735	
元文5年8月	1740	
延享2年7月	1745	福知山洪水
寛延2年7月3日	1749	大洪水。福知山被害
宝暦9年7月24日	1759	大洪水
明和1年8月	1764	福知山大洪水
安永2年7月11日	1773	福知山大洪水
天明2年2月	1782	大洪水、8月まで4回
天明3年8月	1783	
天明4年8月	1784	
天明5年5月	1785	大洪水、夏大旱
天明6年9月7日	1786	大洪水、凶作
寛政1年6月	1789	4月より60日間大旱
寛政1年8月	1789	
寛政2年8月	1790	
寛政3年8月20日	1791	
享和1年7月20日	1801	天田郡豊富村
文化4年4月	1807	福知山洪水
文政12年7月18日	1829	福知山洪水、全町浸水
天保7年4月	1836	大洪水
天保7年7月	1836	凶作飢饉
嘉永3年5月15日	1850	
嘉永3年7月8日	1852	福知山洪水
嘉永3年8月23日	1850	福知山洪水
安政2年10月18日	1855	福知山洪水
安政3年5月16日	1856	福知山洪水
文久3年7月14日	1863	
慶応2年4月29日	1866	
慶応2年5月15日	1866	福知山洪水
慶応2年8月7日	1866	福知山洪水
慶応3年4月29日	1867	
慶応3年6月19日	1867	

〔資料①〕『山南町誌』に載る水害

年月日	台風名称、異常気象等	災害状況
明治 四〇・八・二四〜二六	台	紀伊半島に上陸、近畿を縦断、雨量は柏原町で四〇〇ミリ、加古川上流域に大きな被害
大正 一三・六・七、八月	大干ばつ	六月以降三カ月降雨なく、県下全域では水稲の収穫皆無が五〇〇町歩に達した
昭和 一四・五・二三	北丹大地震	震源地は円山川河口、山南四カ村は小被害
昭和 七・七・一〜二	前線豪雨	雨量一四四ミリ、篠山川大洪水、青田橋、世花橋は流失
九・九・二一	室戸豪雨	雨量二四四ミリ、郡内の全壊家屋八二
一三・七・三〜五	前線豪雨	阪神大水害、神戸市の被害甚大、県下の死者七三一人、雨量一九二ミリ、和田村内の橋梁多くが流失
二〇・九・一七〜一八	枕崎台風	篠山川・佐治川氾濫
二〇・一〇・九	台	篠山川・佐治川氾濫
二五・九・三	シエーン台	篠山川・佐治川氾濫
二八・九・二五〜二六	一三台風	県下全域に被害、久下村地内篠山川大災害

年月日	台風、豪雨等	概要
昭和 三三・九・二六	伊勢湾台風	雨量二〇五ミリ、応地橋流失ほか
三六・九・一六	第二室戸台風	雨量一五〇ミリ
三八・六・四	二、号台、風	雨量一四六ミリ、和田地区西部に集中豪雨、坂尻川等氾濫、富田橋・栗節堂橋・十王堂橋流失、湯舟川・福田川等も被害、被害総額八〇〇万円
四〇・九・二〇	二三号台風、秋雨前線豪雨	降りはじめからの総雨量四六七ミリ（柏原）、瞬間最大風速四〇メートル、家屋全壊一二戸、久下小・山南中被害大、被害総額二億五〇〇〇万円
四二・三・末	九号台	新応地橋完成
四四・八・二三	集	福田川ほか被害
四四・七・三	中	太田西川ほか被害
四七・九・一六	二〇号台	新築師堂橋完成、四六年災害復旧
四八・三・末	一七号台	坂尻川災害復旧改良工事完了
四八・九・三	一	降りはじめからの総雨量三八二ミリ、南中川ほか被害
五一・九・三	集	五一年災害復旧工事進捗下瀧川・南中川ほか
五二・三・末	中	雨量二四三ミリ、被害総額一億八〇〇〇万円、上瀧川・小野尻川被害大（西河川の全面改良事業採択）
五二・六・二六	集	五一年災害復旧完了！石戸川・岩屋谷川ほか
五五・三・末	台	台風相次ぐ、被害総額六一四五万円
五七・八・九	一〇号台	五七年災害復旧完了！古坂川・北太田川ほか
五八・三・末	〇	降りはじめからの総雨量二九七ミリ、上久下地区・久下地区が特に大被害、阿草川・上瀧川・初原川・中谷川・西川・篠場川・山田川・岩屋谷川・小新屋川等特に被害甚大